

会 議 録

1. 会議の名称 令和5年度第2回協働推進委員会
2. 開催日時 令和5年11月9日（木）19時00分～21時15分
3. 開催場所 熊取町役場北館3階大会議室
4. 議題
 - （1）住民提案協働事業制度「団体提案型」の公開プレゼンテーション等
 - ① バレーボール部 熊取町 PR プロジェクト
 - ② 手話ダンスを通じて、子どもからお年寄りまで誰もが手話で会話ができる環境をつくろう
 - ② 人とペットに優しい街、くまとりプロジェクト
 - ③ Viento Kitchen（子ども食堂）
 - （2）委員会判定会議（非公開）
5. 公開・非公開の別 一部非公開
【一部非公開の理由】 委員会判定会議については、提案事業の採択・不採択の審査の公正かつ適切な意思決定を担保するため、当該情報は審議会等会議公開指針第3条第1号に該当すると判断し、非公開とした。
6. 傍聴者数 1人（一般）、11人（事業所管課）
7. 審議等の概要
 - （1）住民提案協働事業制度「団体提案型」の公開プレゼンテーション（2団体）、質疑（2団体）

実施にあたり、審査基準を確認のうえ、審査結果は町に提言を行い、町が事業実施の可否を決定後、後日郵送で通知することを説明した。

その後、委員と提案者による質疑応答を実施した【別添参照】。
 - （2）委員会判定会議（非公開）

【審議結果】

上記①～④の「団体提案型」の提案について、採択となった。
8. 会議の情報
名称 協働推進委員会
根拠法令等 協働推進委員会規則
設置期間 平成22年12月7日～
所掌事項 住民提案協働事業の審査等及び協働のまちづくりの推進に関して町長から意見等を求められた事案に対する協議・検討及びそのほかの協働のまちづくりの推進に関すること

令和５年度 第２回協働推進委員会（R5.11.9）

■「団体提案型」公開プレゼンテーション 提案団体に対する委員からの質疑応答概要

□ ① バレーボール部 熊取町PRプロジェクト 提案団体：大阪体育大学 バレーボール部女子

【質問】 委員

- ・学生がロゴマークをユニフォームにつけて、試合に出ることについて問題はないか。

【回答】 提案者

- ・既にバレーボール部では、スポンサーのロゴマークを付けて試合に出ることが多い。
- ・協議連盟には了承を得ているため、問題はない。
- ・部活動は自主活動のため、部員の持ち出しで運営してもらうことが多いため、スポンサーにやってもらうメリットがある。

【質問】 委員

- ・予算書に計上されている費用は、ユニフォームをつくることだけに対するものなのか。

【回答】 提案者

- ・ユニフォームを作成することだけに対する費用として計上している。
- ・動きが激しいスポーツなので、ワッペンを付けるだけのものにするのと、取れてしまうことが多いため、ユニフォーム自体を一から作成することが必要。

【質問】 委員

- ・通常のユニフォームと、ロゴを入れるユニフォームの作成費用は違うのか。

【回答】 提案者

- ・ロゴ入りのユニフォームの方が通常のものより若干高い。

【質問】 委員

- ・令和４年度の決算を見ると、前年度の繰越が１０７万くらいあるが、次年度（令和５年度）繰越金は４９万円程となっている。
- ・繰越金が目減りしているように思うが、提案が採択された場合の補助の関係で問題はないか。
- ・繰越金が目減りしているから補助金が欲しいというわけではないか。

【回答】 提案者

- ・そういうわけではない。
- ・繰越金が減っているのは、コロナ禍が終わって活動が活発化しているのが大きな要因。
- ・部活動は学生が持ち出しでするものなので、繰越金が減ったからといって活動に支障を来たすものではない。

【質問】 委員

- ・事業内容に「Instagramにおけるハッシュタグを付与しての積極的な情報発信」とあるが、貴部のInstagramを拝見すると、全然ハッシュタグついていないように思う。
- ・採択された後、Instagramは誰が発信するのか。SNS担当はいるのか。

【回答】 提案者

- ・バレーボール部のInstagramは最近作成したもの。
- ・SNS担当はいるが、発信は試合後と、メンバー紹介に絞って実施しているところ。
- ・この事業を通じて、SNS担当の学生の勉強になれば、と考えている。

【質問】 委員

- ・すでにユニフォームにスポンサーロゴをつけて試合に出ている、ということだが、競合で別の主体がスポンサーとして入ってくることに関して問題はないか。

【回答】 提案者

- ・まず、大学スポーツのメディアはプロとまったく違う。
- ・大阪体育大学としても、複数の主体に協力いただき、地域に貢献できるような団体から補助ももらいたいと考えている。

【質問】 委員

- ・今回、トライアルとして実施したとして、今後、スポーツ施策として実施していく考えはあるか。

【回答】 提案者

- ・学生と先生に理解いただけたら、大阪体育大学スポーツ局としても進めていきたい。

【質問】 委員

- ・部員は、熊取町のロゴが入るデザインでいいと思っているのか。着たくない人はいないのか。

【回答】 提案者

- ・部員は今回の提案の話はまだ知らないが、ジャンプソンTシャツは学生からの評判が良かった。
- ・ジャンプソンTシャツで良い反応があったので、今回のユニフォームも喜んで着てくれると思う。

【質問】 委員

- ・貴部の理念はどういったものか。

【回答】 提案者

- ・女子バレーはクリーンなイメージがあり、また、自己犠牲のスポーツであるので、トップ目指す中で、人のためになるように、という部分を大切に指導している。

【質問】 委員

- ・比較的熊取町外での活動が多いが、大学での試合でもこのユニフォームを着ていただけるのか。

【回答】提案者

- ・大学での試合は規格が決まっているため難しいかもしれないが、試合以外の活動（バレーボール教室）などで着ようと考えている。

□ ② 手話ダンスを通じて、子どもからお年寄りまで誰もが手話で会話ができる環境をつくろう
提案団体：スプリング

【質問】委員

- ・手話ダンスを始めたいと考えたきっかけは。

【回答】提案者

- ・スプリングという女性活動団体を設立した際、そのメンバーに手話ダンスをする人がおり、その方に教えてもらったことがきっかけ。

【質問】委員

- ・ポスター製作費用として、印刷製本費を計上されているが、このポスターは、何部印刷し、どこに掲示する予定か。

【回答】提案者

- ・A3 サイズのポスターを 500 部作成し、駅に掲示する予定。

【質問】委員

- ・CD 作成費として備品購入費を計上されているが、54,000 円もかかるのか。

【回答】提案者

- ・空のCDの購入や、印刷、ダビングなどにかかる費用で、計上している予算分はかかる見込み。

【質問】委員

- ・これまでの決算を見ると、報償費は計上されていないが、必要か。

【回答】提案者

- ・メンバーの手話を教えるための講師謝礼として計上しているもの。
- ・習った時点と、今の手話が変わってきているので、保育園児に教えるには、正しく、新しい手話を教えたいため、講師に最新の手話を習いたいと思っている。

【質問】委員

- ・保育園での手話教室における、園児の対象年齢は。

【回答】提案者

- ・4歳児と5歳児を教えている。

【質問】 委員

- ・手話で熊取弁はあるか。

【回答】 提案者

- ・手話に方言はないと思う。

【質問】 委員

- ・会員数は増やしていくつもりか。

【回答】 提案者

- ・平日の練習になるので、お勤めされている方は来れないかなと思う。
- ・また、「手話ダンス」というと敷居が高いイメージがあると思うので、活動を通じて簡単であることを広めていき、増やしたいと思っている。

【質問】 委員

- ・予算書の出演謝礼はどなたにお支払いする予定か。

【回答】 提案者

- ・キターネホールのオープニングセレモニーに保育園児と老人ホームの利用者たちが出演された場合の謝礼として記載したもの。

【質問】 委員

- ・聴覚障がいのある方に手話ダンスを披露する機会はないのか。

【回答】 提案者

- ・社会福祉協議会の催しで手話ダンスを披露した際、聴覚障がいのある方がおられた。

□ ③ 人とペットに優しい街、くまとりプロジェクト

提案団体：特定非営利活動法人しっぽのごえん

【質問】 委員

- ・今年度実施中の事業の進捗は。

【回答】 提案者

- ・年数重ねるごとに「くまとりワンFesta」の来場者が増えてきた。
- ・ワンFestaを通じて、ペットとの交流も含めて、今後も進めていきたいと考えている。
- ・図書館での「しっぽの仲間えほんの会」は、かなりニーズがある。子どもと犬が触れ合うというのを尊重しながら、本読みの練習を行う、という活動をしている。
- ・ペット防災は、今年度補助犬の活動をしている人を講師に招いた。盲導犬の活動家がいるので、その方にもご協力いただいた。
- ・この事業は2年目だが、まだ人とペットにやさしい街が進んでいないかと思うので、今後もいろんな媒体で周知しながら、啓蒙していきたい。

【質問】 委員

・ワン Festa には 1,500 人くらい集まったとの報告があったが、ペットを飼っておられる方が、イベントに関心を持って参加した、という分析をすればよいのか。

【回答】 提案者

- ・ペットが家族という感覚が強くなってきていると感じている。
- ・ペットを連れていない方もこのイベントに参加いただいた。
- ・その中で犬を連れて歩いている方との交流になったと感じている。
- ・ペットを飼っていない方でも楽しめるイベントになったと思っている。

【質問】 委員

・高齢化が進んでいて、単身世帯が増えているが、こういった背景の中でのペットとの関わりについて変化を感じることはあるか。

【回答】 提案者

- ・高齢の方がペットを飼われていて、その方が何かあったときに、ペットを誰が面倒を見るか、というのが熊取町で課題になっている。それをどういう風にしていけばいいか、というのを団体としても考えている。
- ・熊取町では防災の方で災害時に住民の手助けしている（災害時の行動に関する資料を配っている）ので、そこに「ペットを飼っている、飼っていない」という情報も載せたら、何かあったときに対応ができるのではと考えている。

【質問】 委員

・質問というよりお願いだが、動物とのふれあい体験の取組みは、機会があれば継続していったほしい。

【回答】 提案者

- ・他市で似たプログラムを実施したところ。
- ・子どもを中心に、動物アレルギーある人もいることから、しっかりと協議しながら取り組みたいと考えている。

□ ④ Viento Kitchen（子ども食堂）

提案団体：Viento Kitchen（子ども食堂）

【質問】 委員

- ・今年度実施中の事業の進捗は。

【回答】 提案者

- ・この協働事業を実施してから、1 年半ほど経った。
- ・先月子ども食堂を実施した際、用意していた 100 食が 15 分で売り切れた。
- ・本事業がかなり周知されてきたと思う一方で、これまでテイクアウトのみで実施してきたからか、イートインの利用率が少ない。

- ・「居場所づくり」の観点ではまだまだ課題があると考えている。

【質問】 委員

- ・様式 17 号の決算書を見ると、差額を熊取町へ返金しているが、財政上は潤沢に運営できているのか。

【回答】 提案者

- ・潤沢ではない。昨年度決算で差額が出たのは、テイクアウトで実施していたので、飲料を提供しなくて済んだため。
- ・今年度は食材費を多めに計上している。その代わりに有償ボランティア費を下げ調整している。
- ・事業の周知がされてきたのか、有償ボランティアの費用を下げても、来てくれる方がいる。

【質問】 委員

- ・今回の提案が採択されたら 3 年目となるが、4 年目以降の事業イメージはあるか。

【回答】 提案者

- ・居場所づくりができるよう、2 か月に 1 回の実施を 4 年目以降は 1 か月に 1 回にして実施したい。

【質問】 委員

- ・物価上昇で苦しくなる家計の人が増えていると思うが、そういった背景で利用者が増えているのか。

【回答】 提案者

- ・利用者は増えているが、この事業の認知が上がったから増えたのか、家計が苦しくて増えたのかはわからない。

以上